

編集後記

2003年4月7日、残念ながら現実に鉄腕アトムが誕生することはなかったようですが、人類の叡智は、彼を生み出したロボット技術、原子力技術を着実に発展させてきました。48年前、鉄腕アトムと同じ誕生日に生まれた一人の理科大好き少年は、高校生で第1次オイルショックを経験し、人類のエネルギー問題を解決しなければと決意して、大学、大学院で学びました。卒業のとき、問題の解決に直接貢献するモノ作りをしたいと思い、メーカーに入社しました。入社直後から、臨界実験装置に続く工学規模の核融合実験炉の建設に携わることを夢見て、国内外の研究者の方々とともに、実験炉の設計や炉内機器の研究・開発に携わってきました。必死でしたが、楽しい時代でした。それからもう25年が経とうとしています。残念ながら日本経済の冷え込みが続く近年、企業の研究者、技術者の置かれる状況は極めて厳しいものがあります。それでも自分たちの夢の実現を信じて、日々の努力を続ける仲間、少なくあ

りません。エネルギーとしての核融合、応用技術としてのプラズマを、ハードとして実現していくことが、メーカーの研究者、技術者としての生きがいであるからです。2004年を迎えました。今年が日本の核融合にとって特筆すべき重要な年となり、夢が現実に向けて進み始めるに違いないと期待が膨らみます。企業に所属する会員の積極的な発言は、現在のところ決して多くないと感じています。厳しい時代であるからこそ、学会誌を通じて似た立場にいる仲間の投稿や発言が、夢の実現に向けてお互いを励まし、勇気づけてくれるものと信じます。また、学会を通じての大学や研究所の先生方、学生の方々との交流や意見交換は、重要な情報源であるばかりでなく、仕事の質を向上させていくための良い刺激になることは疑いのないことです。企業に所属する会員の皆様の、学会活動への一層の参画と学会誌の活用に大いに期待するものです。

(山崎 誠一郎)

プラズマ・核融合学会役員

| | | | | | |
|-----|---------------|---------------|---------------|------------------|---------------|
| 会 長 | 高村 秀一 | 副 会 長 | 山中 龍彦 藤原 正巳 | 常務理事 | 岡村 昇一 (総務委員長) |
| 理 事 | 井岡 茂 (財務委員長) | 榎戸 武揚 | 岡野 邦彦 | 二宮 博正 (広告委員長) | |
| | 西原 功修 | 田辺 哲朗 (編集委員長) | 堀岡 一彦 | 永見 正幸 (プログラム委員長) | |
| | 松岡 啓介 (企画委員長) | 長 照二 (出版委員長) | 松井 秀樹 (広報委員長) | 吉田 善章 | |
| | 佐藤浩之助 | 際本 泰士 | | | |
| 監 事 | 天岸 祥光 | 長谷川 満 | | | |

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田辺哲朗 (名大)

エディター 岡子秀樹 (九大)、関 昌弘 (原研)、田中雅慶 (核融合研)、西村博明 (阪大)、福山 淳 (京大)、藤山 寛 (長崎大)

編集委員 相澤正満 (日大量科研)、安藤利得 (金沢大理)、井深真治 (東工大院理)、入江 克 (早大理工)、遠藤琢磨 (広大院工)、粕谷俊郎 (同志社大工)、金子俊郎 (東北大院工)、佐藤邦弘 (姫路工大)、澤田圭司 (信大工)、清水勝宏 (原研那珂)、下妻 隆 (核融合研)、上瀧恵里子 (九大応力研)、白神宏之 (阪大レーザー研)、杉本敏司 (阪大院工)、鈴木千尋 (核融合研)、高木浩一 (岩手大工)、立松芳典 (筑波大プラズマ)、田中 仁 (京大院エネ科)、力石浩孝 (核融合研)、内藤裕志 (山口大工)、波多江仰紀 (原研那珂)、松川 誠 (原研那珂)、松本和憲 (富山県大工)、村上定義 (京大院工)、森下和功 (京大エネ理工研)、八木康之 (産総研)、山崎誠一郎 (川崎重工)、湯上 登 (宇都宮大院工)、渡邊清政 (核融合研)、渡邊智彦 (核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛て送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第80巻第1号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: <http://jspf.nifs.ac.jp/>

印 刷 株式会社荒川印刷

2004年(平成16年)1月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。